

あっぱれ 優 拍手!

頑張った人々を紹介し、
応援するコーナーです。

中学校

- 郡市青少年読書感想文コンクール
優秀 松本剛尚、高橋咲帆
- 県青少年読書感想文コンクール
佳作 松本剛尚、高橋咲帆
- 税についての作文
優秀 三浦奈々
- 会長賞 越川七汐
- 香取地方教育委員会連絡協議会会長賞 三枝奈央
- 税についての標語
優秀 高橋美響
- 佳作 並木桃華、潮田林松
- 県児童生徒美術展覧会
入賞 池勝美夏、樋口杏奈、柴田優花
- 郡市1年生野球大会
優勝 野球部 **県大会出場**
- オリンピック杯争奪陸上競技大会
優勝 共通200m 齋藤準
- 2位 共通110mハードル 齋藤準
- 3位 共通男子4×100mリレー
齋藤準・宇井将晃・加瀬天斗・大矢一史
- ※ 2・3年生100m 小林佳奈

一般

- 香取地区スポレク中央祭
優勝 ヘルスパレーボールの部 多古町
※ グランドゴルフ 個人の部 木川幸男
- 2位 総合の部 多古町
※ ドッジボールの部 多古町
- 四街道ガス灯ロードレース大会
優勝 知的障害者の部 山本京子
(ひかり学園アネックス)
- 千葉県綱引選手権大会
2位 男子の部 常磐気綱会 **全国大会出場**



恒例となった『多古中学校 PTA バザー』が11月17日に町民体育館で開催されました。トラックの荷台をステージに行われた吹奏楽部の華やかな演奏や、温かい豚汁や焼きそばなどの模擬店、目玉のバザーは開始前から長蛇の列で時折、小雨に見舞われましたが会場はたくさんの人でにぎわいました。生徒たちも荷物を運んだり、売り子をしたりと大活躍。中学校が一丸となった今年のバザーの収益金は約141万円で、中学校で部活動の備品購入など、教育活動資金として活用されます。

ブラボー！クラシックコンサート♪

11月10日に宝くじ助成事業として『キエフ国立交響楽団』による華麗なるロシア音楽の公演が文化ホールで開催されました。最初に披露されたチャイコフスキー作曲の「幻想序曲ロミオとジュリエット」は情熱的で切なさを感じるドラマチックな指揮と演奏。2曲目の「ピアノ協奏曲第1番」では、ピアノの優しく温かい音色に魅了されました。アンコールも含め全6曲の演奏が終わると、観客から感動を込めた大きな拍手が演奏者たちに送られました。



護摩奉納で願いを

11月21日に大門の成就院で『護摩奉納』が行われました。これは成就院を建立したといわれている、神崎町で生まれた僧侶の木食法印俊弁上人が境内に石室を作り断食行の後、静かに入定した日として、供養が行われています。併せて護摩奉納が行われており、本堂に集まった100人以上の方々は願い事の成就を祈りました。



今までに 130 個も

石井久男さん(本三倉)は農家をしていた30年前頃、木の根っこや猿の腰掛けなどを集め、それを使って『木彫りの作品』を作りました。「今までに作ったのは130個くらいです。木の根には一つとして同じ形がないのが魅力で、見る方向によっても違うので、作っているうちにいろいろなアイデアが浮かんできて…。手先を動かすことが好きなので、それが85歳まで元気でいられる秘けつになっているのかもしれない」と笑顔で話していました。

雨にも負けず大成功の PTA バザー

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



大震災から見たもの ～生涯学習文化講演会～

11月18日、コミュニティプラザ多目的ホールを会場に『多古町生涯学習文化講演会』が開催されました。講師には多古町川島出身で現在は山形市に在住し、工学・歯学博士としても活躍されている、山形大学地域教育文化学部長の那須稔雄さんを招き「3・11東日本大震災・原発事故から考える ～未来へつなぐバトン～」と題して約170人の参加者のなか講演が行われました。

那須さんは大学での授業のように、参加者の皆さんに分かりやすくゆっくりと語り掛けました。20世紀から21世紀へかけての自然科学の発展や、宇宙の歴史などの宇宙論にはじまり、週末は福島市で過ごしていることから、東日本大震災による福島第一原発事故の実情や福島県の子どもの様子を説明しました。また「ゆっくり」「丁寧」の意味を持つ福島地方の方言「までい」を使い、福島県飯館村が掲げている「までいライフ宣言」に沿って自然と人間との共生について話しました。



参加者の皆さんに熱心に語り掛ける



大学での授業のように説明

健やかな成長を祝い

天照山の大神宮において11月10日、子どもたちの成長を祝い、そして願うため『七五三』が行われました。晴れ渡る空の下、石段を上り鳥居をくぐると5月に完成した新品の石畳を歩き、色あでやかに着飾った6人の子もたちと家族がお参りに訪れました。

大神宮で行われる七五三は町内13地区の氏子によるもので、子どもたちとその家族のお祝いに、神社総代や区長の方々などが集まりました。社殿では玉串を神前に捧げて拝礼する玉串奉奠が行われ、神主のお手本に続いて行くと、さまざまな作法で玉串を捧げている子どもたちに、保護者の方々は心配した様子で見守っていました。

七五三を迎えた6人の子もたち



子どもたちが神前にて拝礼

